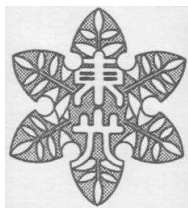
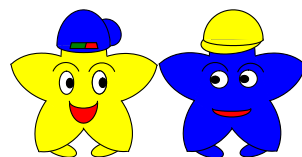


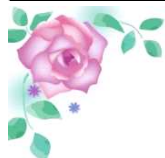
基本理念：「愛情と信頼」「研鑽と結束」



忠別川



旭川市立東光小学校
学校だより第3号
令和3年6月25日



潤いのある教育環境

校長 石ヶ森 孝順

朝、ランドセルを背負ったまま、校舎前の花壇に向かって行く子どもたちがいます。誰に言われるでもなく、自然と足を運んでいます。ジョウロで水をあげ、指先が汚れることを気にせず草取りをしています。次から次へと子どもたちがやって来ますので、花壇がどんどんきれいになります。毎日足音を聴くサルビアやマリーゴールドは嬉しそうです。

各学年の学習に役立つ植物も、にぎやかになってきました。



- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1年生～アサガオ | … 小さい種から花を咲かせようとお世話を続けます。 |
| 2年生～ミニトマト | … 実がなる野菜に親しみをもってお世話を工夫します。 |
| 3年生～ヒマワリ、ホウセンカ | … 根・茎・葉の体のつくりを観察します。 |
| 4年生～ハチマ | … 季節を通じた成長の変化を観察します。 |
| 5年生～インゲンマメ | … 発芽と成長には何が関係するのかを考えます。 |
| 6年生～ジャガイモ | … 日光と葉にできるでんぷんとの関係を考えます。 |



つくし・あじさい・たんぽぽ学級の教材園には、様々な種類の野菜が植えられています。暑さに強いサツマイモ、暑さに弱いタマネギ、連作をいやがるトマト、連作を気にしないトウモロコシ、肥料を多く欲しがるナス、肥料を自分で作るエダマメ…など、それぞれに個性ある野菜で、秋の収穫祭が楽しみです。

栽培活動は教育的価値が高く、特に、身近な自然の不思議さ、生命の力に気付くことは、自然環境を大切に作る態度や優しい心をはぐくむことにつながります。

各ご家庭におかれましては、植物に酸素や水、栄養を行き届かせる大地、ふかふかの土のように、温もりをもってお子さまを支えていらっしゃると思います。

新年度になって3ヶ月を経過しましたが、保護者の皆様にとっては、学校に足を運べず教育活動の様子が分かりにくいこと、教職員の顔が見えない中で連絡を取り合うことなど、不安を抱えながらも、学校との協力体制を構築していただいています。

6月29日（火）～7月14日（水）の保護者面談では、関係教員とコミュニケーションを図り、お子さまの確かな成長を確認していただけますよう、よろしくお願いいたします。

5年生が、みんなが使うプールを清掃してくれました。自分なりの仕事を見つけながら一生懸命でした。2階廊下では、幼虫・さなぎを経て羽化したチョウが飛んでいました。3階廊下では、メダカが産卵しています。校内外で、北海道の初夏を感じます。

児童と教師が、共にいい汗をかきながら、1学期後半の教育活動を進めていきます。



「校長先生、これあげます！」四つ葉のクローバーを手につけて寄って来る児童がいました。幸せのおすそ分けをいただきました。
「ありがとう！」デスクマットにはさめています。